



A BRAND OF

BONOMI[®]
INDUSTRIES

JPN

INSTALLATION, MAINTENANCE AND OPERATING INSTRUCTIONS



BONOMI INDUSTRIES SRL

LRQA
CERTIFIED

ISO 9001 - ISO 14001
ISO 45001



重要: **RuB** 社製バルブ取り付けの前に、必ずこの説明書をお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに保管していただき、必要な時にお読みください。

使用上の注意: この製品は、資料に明記された圧力、温度下において水、空気、ガスおよびオイルを使用することが出来ます。加熱での使用の場合は、VD12035 基準で指定されたこの製品要求事項を遵守して下さい。これら以外の流体でご利用される場合や、特殊構造・基準適合性の確認などについての関連情報が必要な際は、**BONOMI INDUSTRIES** 社のカタログやウェブサイト <http://www.rubvalves.com> をご覧になるか、またはメール sales@rubvalves.com で、直接お問い合わせください。

特定の状況下 (例えば製品を半開、微開状態でお使いになり流量が低減する場合、特に粘性のある液体や研磨剤を使用した場合、高い圧力差がある場合、塩化物・アミン・アンモニア・二酸化硫黄等が添加されている流体を使用した場合) で、バルブが破損する恐れがあります。

BONOMI INDUSTRIES 社は記載されている仕様・条件を外れての使用に関して一切の責任を負いません。

取り付け: インストールは、厳密に下記の指示に従い、有資格者のみが行うことができます。

すべてのインストールは、それぞれの地域の法規や実情に合わせて実行されなくてはなりません。

1) **RuB** 社製 ON/OFF バルブのほとんどは双向切替型です。

このため使用流体の流れ方向を考慮せずに導管に取り付ける事が可能です。

單方向バルブには矢印が刻印されています。流体の流れが矢印の方向通りになるようバルブを取り付けてください。

注意: ガス EN 331 向けに認証されたバルブを ISO228 に応じて雄ネ接続シリンダーでつなぐ場合は、密封性を確保するために GAS 使用の基準に適合した平らなガスケットを使用してください。

注意: 機械を設置した後、継ぎ手やホースコネクターその他の接続部品とバルブの間の密封性を機械の運転開始前に十分な注意を払って確認する必要があります。この確認は、バルブが先に挙げられた接続部品等にすに取り付けられた状態で届いた場合にも同様に必要です。

2) バイブラインのバルブの接続

2a) バルブが正しく一直線に並んでいる事を確かめてください。

2b) ねじ山のシーリング。 **BONOMI INDUSTRIES** 社はねじ山のシーリング剤を使用することを勧めます。

テフロンテープが使用されている場合は、量を超過しないよう注意してください。

ドラフトバルブの (シーリング剤が付いていない) ねじ山のバルブを取り付ける場合は、潤滑油やグリスを少量塗ってねじ山を滑りやすくしてください。(

20) バルブのバイブの取り付け。バルブのねじ口部が溶注のイラストに示された陰影部分に来るように置き、適切な工具を使用してバルブを取り付けてください。(さもないと、バルブ自体の機能性に影響し、継手やボール押さえに損傷を与える事になります。)

2a) バルブに損傷を与える事がありますので、パイプにバルブを締め付けないように注意してください。

取り付け完了後は、組立作業者が必ず「す」を一掃するため、システムを一度 (バルブ、パイプなど) を洗浄してください。

操作開始前に管路を点検し漏れがないかチェックして下さい。バックシングランド付バルブは更に調整が必要な場合があります。その際はメンテナンスの手順に従って下さい。ガス用 EX331 規格適合品である S84, K84, K60, K64, S88 は、ページ 2, 3 の「CE マーク」書ご参照。

注意:

ドレンバルブや排出バルブを取り付ける場合は、流体を流す際に物や人に損害を与えないよう流体を適切に調節して流してください。

調節パッキン付きバルブのハンドルを取り外す場合は、バルブを操作する前にグラウンドナットを手で締め、レンチで更に 1/6 回転させます。その後ハンドルを

取り外し、ハンドルがシステムに確実に固定されるようナットをきつく締めます。

ハンドルなしでバルブを使用しないでください。

取扱説明書:

バルブを閉めるには、ハンドルを時計回りに 90° 回転させます。開くにはハンドルを反時計回りに 90° 回転させます。急激な動作はウォーター・ハンマーを引き起こし、システム全体に損傷を与えることがあります。

注意: システムの二側面がボールの位置を示します。(システムの二側面がパイプに水平であればバルブは開いており、垂直であれば閉じています。)

点検:

バルブが正しく機能しているかどうかを確認するため、定期点検は必ず実施してください (閉状とき流がとまり、漏れがない確認すること)。

特に厳しい条件下でバルブを使用する場合、頻繁に点検を実施して下さい。

製品取扱説明書に記載されている温度、圧力の限界に近い状態で使用されたり、振動、屈曲、ねじれがある / 考えられる場合は、特に注意していただき点検間隔を出来るだけ短くしてください。

維持管理上の注意:

0 リングを介したシステムによるバルブはメンテナンスフリーです。

調節可能なパッキン付きバルブについては、必要に応じて次の手順に従って点検を行ってください。

ナットをゆるめてハンドルを取り外して下さい。

バックシングランドナットを手で締め、レンチでさらに 1/6 回転させます。その後、ハンドルを取り付け、ハンドルがシステムに確実に固定されるようナットをきつく締めます。

ハンドルなしでバルブを使用しないでください。

警告:

バルブの安全性を確保するため、パイプラインからのバルブ取り外しあるいは継手分解の前には必ず次に記載する手順を行ってください。

1) 主にパイプラインに使用される流体からの保護のため、作業時は防護服と保護具を着用してください。

2) バイブラインの減圧やバルブの操作は次に示す通りに行ってください。

2. a) バイブライン/パイプの圧力を下げるため、バルブを開きます。

2. b) バイブライン内に残っている圧力を取り除くため、バルブを開いた閉じたりします。

2. c) バイブラインからバルブを取り外します。

2. d) ハンドル (あるいは操縦用の取っ手) を約 45° 回転させ、残った流体を集めて確実に取り除きます。

バルブの取り外しの際は、バルブのねじ受口部に關して、上記「取付け」の項に示された方法で行ってください。

注意:

標準ボールバルブは、内部の流体が膨張した結果、バルブが破損する恐れがあり、よって流体が外部に漏れ出す可能性があります。

この製品は **BONOMI INDUSTRIES** 品質手順に従って管理されています。万が一、材質や働きについての欠陥製品が見つかった場合は、クレーム内容や明記の上、

梱包箱に

添付されたタダのコピーと併せてバルブをご返送ください。

ただし、旅行法や取付け法が間違っている場合はクレームをお受けすることはできませんのでご了承ください。(詳しくは製品取扱説明書をお読みください。場合によっては、使用流体及び流体の通過状況の解析・製品設置環境について、製品を取り外す前に詳細な写真を撮って頂くとともに、取付け状態の記録を提出して頂く必要があります。)

改造、付加された製品は、署名証明書無効となり、当社の保証、賠償対象になりません。該当する場合、規則・法律で義務されている場合ハンドルに改ざん防止シールが付けられています。

梱包素材やバルブの廃棄については、各国の現行法に準じてください。

この説明書においてご不明な点がありでしたら、英語テキストを参考にさせていただきます。

シリーズ 84、60、64 バルブ
耐圧：5bar
温度：-20°C～60°C

重要な注意事項：

ロック可能なハンドルが取り付けられている場合において、バルブが EN331 規格に準拠したガスで使用される場合、バルブは「オン」の位置でロックしてはならない。

ご注意：

- 手動操作のボールバルブ及びクローズドボトムの手動操作プラグバルブのいずれかの部分が劣化または破損した場合には、バルブ全体の交換を要す。

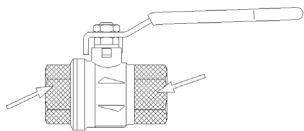
バルブ全体の一部のみが交換された場合、バルブが本文書規程の所期性能要件を満たさなくなる；

- 手動操作のボールバルブ及びクローズドボトムの手動操作プラグバルブの使用にあたって、使用目的に合った適切な流量が得られることの確認を要す；

- バルブの設置は、既存の地域の設置規則や実施基準がある場合は、それ等に従って実施することを要す；

- バルブの接続点の正しい位置を含め、手動操作のボールバルブ及びクローズドボトムの手動操作プラグバルブのメーカーや機器メーカーの設置手順に従うことが必須要件として求められる。

これらの指示と警告は、必要に応じて図面で補足されることがある。



REACH規則に従い、当社製品に含まれる黄銅合金製の部品には、合金成分として重量比0.1%のしきい値を超える鉛が含まれていることをこどもと通知する。

鉛は、2018年6月27日に承認プロセスのSVHC候補リストに含まれた。

このフォームでの鉛のエクスポージャーは提供されていないため、製品の安全な使用に関する追加情報は必要とされない。



A BRAND OF

BONOMI[®]
INDUSTRIES

BONOMI INDUSTRIES SRL

Via Padana Superiore 29, 25080 Mazzano (BS) - **Italy**

Tel: (+39) 030 212441 - Fax:(+39) 030 2629498

sales@rubvalves.com - www.bonomiindustries.com

RUB Inc.

Shakopee, MN - USA

www.rubinc.com

RUB kk

Tokyo - Japan

www.rubkk.jp

⚠ ALL RIGHTS RESERVED | COPYRIGHT© BONOMI INDUSTRIES 2022

BONOMI INDUSTRIES endeavors to provide comprehensive information about the installation, maintenance and operation of its products. For more details or clarification, please contact us. **BONOMI INDUSTRIES** reserves the right to change or modify product design, construction, specifications, materials or the information herein without prior notice and without incurring any obligation to make such changes and modifications on products previously or subsequently sold. Content of this document is proprietary to **BONOMI INDUSTRIES** and it may not be copied in part or in whole without prior written authorization. Recommendations on application design and material selection are based on available technical data and are offered as suggestions only. Each user should make his/her own tests to determine the suitability for his/her own particular use. **BONOMI INDUSTRIES** gives no express or implied warranties concerning the form, fit, or function of a product in any application. **BONOMI INDUSTRIES** does not accept liability for errors or omissions. Any undated reference to a code or standard shall be interpreted as referring to the latest edition. **BONOMI INDUSTRIES**, **RuB** and triangles, are all registered trademarks of **BONOMI INDUSTRIES**. Other logos or trademarks are property of respective owners.

For complete disclaimer: www.rubvalves.com/disclaimer